

平成29年度 事業報告

要約

【公益目的事業】

I 一般会計による事業	研究責任者／担当者
1 絶滅鳥・エピオルニス総合的研究（継続事業）	米澤隆弘（復旦大学）ほか
2 アホウドリの人為的コロニー計画に関する研究（継続）	佐藤文男
3 皇居調査－吹上御苑を中心とした皇居内鳥類相を明らかにする	浅井芝樹、小林さやか、岩見恭子、齋藤武馬、黒田清子
4 普及・広報事業 (1) PR誌刊行事業 (2) 講習会事業 (3) 顕彰事業	平岡 考
5 山階武彦助成事業（対象6名）	事務局
II 文部科学省科学研究費補助金（特定奨励費）による研究事業	研究責任者
事業名：日本最大の鳥類関連資料群の維持管理・拡充・公開に関する研究事業 0班：総括 1班：資料群の維持管理 2班：資料群の拡充 3班：情報公開	0班：奥野卓司（所長） 1班：山崎剛史 2班：出口智広 3班：浅井芝樹
III 科学研究費補助金（除 特定奨励費）による研究事業	研究代表者／分担者
1 「危機管理 鳥インフルエンザ感染個体のスクリーニングに関する研究」－基盤研究A、分担事業「野鳥計測・実験」	代表者 中島 功（東海大学医学部教授） 分担者 尾崎清明
2 「渡りと遺伝的分化に着目したアホウドリの保全単位の解明」－挑戦的萌芽研究、分担事業「野鳥計測・実験」	代表者 綿貫 豊（北海道大学水産科学研究院教授） 分担者 佐藤文男
3 「明治期国立博物館所蔵鳥類学標本群成立過程の解明と標本情報の現代的意義に関する研究」－基盤研究C、分担事業「標本情報収集・データ管理」	代表者 加藤 克（北海道大学助教） 分担者 小林さやか
4 「人為的環境改変によるリュウキュウコノハズク二系統の同所化と浸透性交雑に関する研究」－基盤研究B、分担事業「遺伝解析」	代表者 高木昌興（北海道大学教授） 分担者 齋藤武馬
5 「電柱鳥類学：電柱・電線を介した都市における人と鳥との共生関係の実態解明」－基盤研究B、分担事業「野外調査、行動解析」	代表者 三上 修（北海道大学准教授） 分担者 森本 元
6 「河川の砂礫地減少の影響を受ける鳥類の渡り経路、越冬地および重要な中継地の解明」－基盤研究C、分担事業「野外調査での追跡装置装着」	代表者 笠原里恵（弘前大学農学生命科学部研究機関研究員） 分担者 森本 元
IV 民間助成金による研究事業	研究責任者
1 公益信託サントリー世界愛鳥基金 活動助成「琉球諸島のアジサイ類の保全」	尾崎清明
2 自然保護助成基金プロナトゥーラ・ファンド助成「御蔵島のミクラミヤマクワガタと鳥類は健在か－島の自然環境についての基礎調査（29. 9. 30まで）」	岡 奈理子
V 保全研究室 受託・請負事業	責任者
受託事業4件（環境省1件、東京都1件、国立大学法人2件）、請負事業9件（環境省関連7件、法人2件） 合計13件	出口智広（保全研究室長）
【収益事業】	
不動産賃貸事業（東京都渋谷区南平台町に所有するマンション3室の賃貸）	事務局